大学生の心理的適応に関するスクリーニングテストの作成(3)

ーサブグループ化による理解ー

○山上榮子¹・藤重育子² (非会員)・本田周二³・木戸盛年¹・木村昌紀⁴・栗川直子¹・山本恭子¹・小石寛文¹
(¹神戸学院大学・²愛知東邦大学・³鳴門教育大学・⁴神戸女学院大学)

キーワード: スクリーニングテスト, 心理的適応, 学生支援

Development of screening test for psychological adjustment of university students(3)

Eiko YAMAGAMI¹, Ikuko FUJISHIGE^{2,*}, Shuji HONDA³, Moritoshi KIDO¹,

Masanori KIMURA⁴, Naoko KURIKAWA¹, Kyoko YAMAMOTO¹ and Hirofumi KOISHI¹

(¹Kobe Gakuin University, ²Aichi Toho University, ³Naruto University of Education, ⁴Kobe College)

Key words: Screening test, Psychological adjustment, Student support

目 的

本研究は、大学生の心理的適応を、社会的機能、学業的機能、行動的機能との関係においてとらえることにより、サポートの手がかりを得ることを目的とするものである。一連発表の3つ目である本発表では、大学生の心理的適応に関するスクリーニングテストの作成(1)において選定された84項目の中で、特に心理的適応に問題があると考えられる項目に強い反応を示した者を取り上げ、1)対照群との比較、2)類型別分類を行う。

方 法

調査内容 問1 社会的スキル(10項目)、問2 学校適応感(17項目)、問3 ネガティブライフイベント(NE)(7項目)、問4 感情調整(6項目)、問5 UPI(6項目)、問6 友人関係(10項目)、問7 ソーシャルサポート(SS)(11項目)、問8 アパシー(17項目)の計84項目。

分析対象者の抽出 全調査対象者259名の中で、UPI項目の中の「死にたくなる」において「よくある」、「いつもある」と回答した34名を抽出群とした。また、この抽出群と回答に不備のあった者を除いた残りの225名を対照群とした。

結果および考察

1) 対照群との比較: 抽出群と対照群の差を調べるため t 検定を行った。その結果、抽出群は対照群と比べ社会的スキル、適応感、友人への信頼・援助の得点が有意に低く、家族NE、友人NE、合計NE、排他的関係、アパシー(授業への関心のなさ、生活における無気力感)得点が有意に高いことがわかった(表1)。

2) 類型別分類: 次に、抽出群の34名を各尺度得点に応じて以下の6つの類型に分類した(表2)。

(1) 孤立型: 適応感、社会的スキル、友人との信頼・援助得点、SS得点が低く、アパシー項目が高い。安定した対人関係を築くことができず、学業にも消極的で大学への適応感が低い。

(2) 擬似孤立型: 孤立型と比べSS得点が高いが、適応感、社会的スキル、友人との信頼・援助得点は低く、NEも散見される。表面的には充実した対人関係のように見えるが、本人の主観と実際の友人関係にズレがあり、お互いが心から信頼しあえる関係ではないのかもしれない。

(3) 恋愛固執型: 恋人からのサポートが高いが、NEも多く、恋愛において何らかの問題を抱えているようである。そのため、適応感が低く、アパシーも高いと考えられる。

(4) 友だち依存型: 実家暮らしが多く、家族NEが多いことから友人へ深く依存し、排他的関係得点が高くなっている。それゆえに友人NEも多く、適応感が低くなると考えられる。

(5) 過剰適応型: 適応感が高く、感情調整力も高い。友人と

の信頼・援助得点、SS合計得点も高く、充実した人間関係が伺える。学業についても、授業への無気力・無関心度は低い。しかし、勉強への要求水準が高く、本人の中では「まだ足りない」という思いが強いのかもしれない。何においても完璧を求め、人に気を遣いすぎるなど、過剰適応に陥っている可能性がある。

(6) なんとなく死にたい型: 「死にたくなる」という回答がみられたものの、どの項目においても際だった特徴はみられない。

これら6つの類型は前回調査(本田ら, 2011)にて報告された4つの類型(孤立・友だち依存・恋愛固執・非定型)を含むものであり、分類方法の妥当性が確認されたとと言える。より充実した学生生活のために、教員や学生本人も気づいていない問題点を探り、心理的不適応を抱える学生への1つの介入方法として本テストが有効活用されることが期待される。

表1 抽出群と対照群における各尺度平均値(SD)

	対照群	抽出群	t 値
問1 社会的スキル	3.3 (0.57)	3.1 (0.68)	2.41 *
問2 適応感	3.7 (0.56)	3.3 (0.69)	3.63 ***
問3-1 家族NE	1.0 (1.35)	1.9 (1.74)	2.75 **
問3-2 友人NE	1.1 (1.46)	1.7 (1.82)	1.91 +
問3-3 恋人NE	0.7 (1.19)	1.1 (1.58)	1.51
問3-4 教職員NE	0.1 (0.32)	0.1 (0.41)	1.04
問3-5 合計NE	2.8 (2.58)	4.7 (2.98)	4.07 ***
問4 感情調整	3.5 (0.63)	3.3 (0.95)	1.56
問5 UPI.5	2.5 (0.74)	2.8 (0.81)	1.53
問6-1 友人への信頼・援助	3.9 (0.62)	3.7 (0.76)	1.85 +
問6-2 排他的関係	2.0 (0.83)	2.4 (1.01)	2.72 **
問7-1 家族SS	6.2 (3.86)	5.5 (3.75)	1.00
問7-2 友人SS	9.8 (1.98)	9.2 (2.54)	1.36
問7-3 恋人SS	3.8 (4.79)	4.1 (4.70)	.30
問7-4 教職員SS	0.6 (1.41)	0.9 (1.71)	.98
問7-5 合計SS	20.5 (7.16)	19.7 (6.87)	.61
問8-1 授業についての無気力感	2.6 (0.92)	2.8 (0.83)	1.04
問8-2 授業への関心のなさ	2.6 (0.74)	2.9 (0.79)	2.16 *
問8-3 生活における無気力感	3.1 (0.88)	3.8 (0.80)	4.40 ***
問8-4 勉強への消極性	3.3 (0.61)	3.3 (0.78)	.12

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

表2 類型別平均値(SD)

	孤立型	擬似孤立型	恋愛固執型	友だち依存型	過剰適応型	なんとなく死にたい型	F 値
問1 社会的スキル	2.6 (0.62)	3.2 (0.21)	2.8 (0.66)	3.4 (0.64)	3.4 (1.03)	3.1 (0.45)	1.37
問2 適応感	2.5 (0.52)	3.2 (0.25)	2.9 (0.38)	3.3 (0.29)	4.5 (0.32)	3.5 (0.28)	19.35 ***
問3-1 家族NE	1.8 (2.17)	3.5 (0.71)	1.7 (1.60)	3.3 (1.80)	1.6 (1.52)	0.5 (0.53)	2.99 *
問3-2 友人NE	1.4 (1.52)	2.0 (2.83)	1.3 (1.11)	3.3 (2.29)	2.0 (2.00)	0.5 (0.93)	2.25 +
問3-3 恋人NE	0.2 (0.45)	0.0 (0.00)	3.7 (0.76)	0.1 (0.38)	1.0 (1.22)	0.5 (1.07)	18.08 ***
問3-4 教職員NE	0.2 (0.45)	0.0 (0.00)	0.3 (0.76)	0.0 (0.00)	0.2 (0.45)	0.0 (0.00)	.56
問3-5 合計NE	3.6 (3.29)	5.5 (3.54)	7.0 (1.53)	6.7 (1.98)	4.8 (2.17)	1.5 (1.93)	6.28 **
問4 感情調整	2.9 (1.34)	3.3 (0.71)	2.9 (1.26)	3.3 (0.77)	4.1 (0.74)	3.2 (0.45)	1.18
問5 UPI.5	2.9 (0.72)	2.1 (1.27)	3.0 (0.66)	3.2 (0.55)	2.9 (0.59)	2.1 (0.94)	2.12 +
問6-1 友人への信頼・援助	2.9 (0.88)	3.0 (0.28)	3.6 (0.81)	3.8 (0.41)	4.2 (0.98)	3.9 (0.41)	2.43 +
問6-2 排他的関係	1.8 (0.94)	1.4 (0.18)	2.3 (0.84)	3.4 (0.99)	2.4 (1.33)	2.3 (0.56)	2.63 *
問7-1 家族SS	3.0 (3.24)	10.0 (1.41)	5.1 (3.02)	6.4 (4.39)	8.0 (3.54)	4.0 (3.21)	2.13 +
問7-2 友人SS	7.6 (4.28)	9.5 (2.12)	9.3 (1.98)	9.1 (3.34)	9.4 (1.52)	10.0 (1.60)	.53
問7-3 恋人SS	0.4 (0.89)	0.0 (0.00)	9.3 (2.21)	0.4 (1.13)	5.8 (5.40)	4.9 (4.88)	6.98 ***
問7-4 教職員SS	0.2 (0.45)	0.0 (0.00)	0.3 (0.76)	2.3 (2.50)	1.0 (2.24)	0.9 (1.46)	1.48
問7-5 合計SS	11.2 (1.10)	19.5 (0.71)	24.0 (4.69)	18.3 (6.18)	24.2 (4.44)	19.8 (8.51)	3.56 *
問8-1 授業についての無気力感	2.9 (0.95)	2.8 (1.06)	3.4 (0.76)	2.7 (0.88)	2.9 (0.80)	2.3 (0.69)	1.24
問8-2 授業への関心のなさ	3.3 (0.83)	2.5 (0.35)	3.5 (1.01)	2.8 (0.70)	2.3 (0.69)	2.9 (0.48)	1.89
問8-3 生活における無気力感	4.0 (0.77)	3.4 (0.18)	3.8 (0.98)	3.8 (0.72)	3.7 (1.11)	3.6 (0.77)	.22
問8-4 勉強への消極性	3.3 (0.30)	3.2 (0.00)	4.2 (0.67)	2.7 (0.84)	3.3 (0.73)	3.3 (0.58)	3.55 *

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

本田周二・藤重育子・稲葉小由紀・木村昌紀・栗川直子・山本恭子・山上榮子・小石寛文 (2011).
大学生の心理的適応に関するスクリーニングテスト作成の試み 人間文化 H&S, 29, 25-35.